

第5章 中部地域(湖北省、湖南省、江西省、安徽省)

1. 湖北省、湖南省、江西省

2020年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって企業活動や消費が大きく制限されたため、各省の実態経済にもマイナスの影響が表れた。2020年における湖北省、湖南省、江西省の域内総生産（GRP）成長率は、それぞれ前年比5.0%減、3.8%増、3.8%増となり、いずれも伸び率は前年比で大幅に縮小した。特に感染拡大の深刻な影響を受けた湖北省では、2020年1～3月期のGRPが前年同期比39.2%減、固定資産投資が82.8%減、社会消費品小売総額が44.9%減と、多くの経済指標で著しいマイナス成長となった。しかし、同年3月以降、湖北省では徐々に制限が解除され、また、企業の操業再開支援や消費クーポンの発行などの政策的支援もあり、2020年末までに同省のGRPは前年の95%の水準にまで回復を遂げた。

また、日本人会組織は、湖北省武漢市の武漢日本商工会（会員企業：154社、2021年2月時点）、湖南省の湖南日本人会（会員数約100名、2020年12月時点）の2つがある。これらの地域では、各省・市政府や日本人会組織と協力しつつ、ジェトロが積極的な投資環境改善に向けた取り組みを実施している。

湖北省の経済動向

新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）の感染拡大によって深刻な影響を受けた湖北省は、2020年の域内総生産（以下、GRP）が約4兆3,443億4,600万元（前年比5.0%減）となった。中国全体の実質GDP成長率（2.3%増）を7ポイント以上下回ったものの、同年1～3月期（39.2%減）から34ポイント以上の急速な回復を遂げた。また、2020年の全国各省（直轄市、自治区）別では第8位となった。GRPを産業別に見ると、第一次産業が4,131億9,100万元（前年比3.2%増）、第二次産業が1兆7,023億9,000万元（前年比7.4%減）、第三次産業が2兆2,287億6,500万元（前年比3.8%減）となり、特に第二次産業ならびに第三次産業の付加価値総額が大きく落ち込んだ。第二次産業のうち、一定規模以上の企業の工業生産付加価値額は前年比6.1%減となり、41業種中33業種で減少となった。しかし、ハイテク技術製造業は4.1%増となり、特に光ファイバー（4.9%増）、リチウムイオン電池（2.9%増）、電子計算機（36.1%増）、プリント回路基板（4.9%増）などの製造が大きく伸びた。

固定資産投資額は前年比18.8%減となり、特にインフラや工業にかかる投資が20%以上の減少となった。また、湖北省向け外国直接投資額（実行ベース：2020年）は103億

5,200万ドルで、前年比19.8%減となった。

個人消費は特に回復が遅れている。消費の動向を示す社会消費品小売総額は1兆7,984億8,700万元（前年比20.8%減）となった。一方で、自宅で買い物ができるサービスへの需要が高まったことから、インターネット上での小売総額は前年比4.6%増となった。また、都市住民一人あたりの可処分所得は3万6,706元（前年比2.4%減）、農村住民一人あたりの可処分所得は1万6,306元（前年比0.5%減）となった。

一方で、貿易額は前年比8.8%増の4,294億1,000万元となり、伸び率は中国全体（1.9%増）を大幅に上回ったほか、初めて4,000億元を上回った。そのうち輸出総額は8.7%増の2,702億元、輸入総額は9.1%増の1,592億元となった。品目別では、輸出は電気機械製品が1,269億元で輸出総額のおよそ半分を占め、そのうちICチップの輸出が30.8%増の75億元と大幅に増加した。一方、輸入でも電気機械製品が14.2%増の1,083億元で最大となり、輸入のおよそ7割を占めた。そのうち半導体製造設備が25.8%増の264億元、ICチップが22%増の229億元となった。貿易相手国・地域別では、EUとの貿易額が前年比17.1%増の595億元で最多となり、米国が22.8%増の572億元、ASEANが5.6%減の555億元、日本が9.5%増の371億元と続いた。

湖南省の経済動向

湖南省経済は順調な回復を遂げているが、消費の面では回復が遅れている。2020年のGRPは4兆1,781億4,900万元（前年比3.8%増）となった。産業別にみると、第一次産業が4,240億4,500万元（前年比3.7%増）、第二次産業が1兆5,937億6,900万元（前年比4.7%増）、第三次産業が2兆1,603億3,600万元（前年比2.9%増）となった。第二次産業では、一定規模以上の工業付加価値総額の成長率は4.8%増となり、そのうち設備製造業が大きな割合を占めた。

2020年における固定資産投資は前年比7.6%増となった。また、湖南省向け外国直接投資額（実行ベース：2020年）は209億9,800億ドル（前年比16%増）となった。

湖南省の社会消費品小売総額は1兆6,258億1,200万元（前年比2.6%減）となったが、インターネット上での小売総額は前年比17.7%増となった。都市住民一人あたりの可処分所得は4万1,698元（前年比4.7%増）、農村住民一人あたりの可処分所得は1万6,585元（前年比7.7%増）となった。

貿易総額は、前年比12.3%増の4,875億元となった。そのうち輸出総額は7.5%増の3,306億元、輸入総額は24.1%増の1,568億元となった。品目別では、輸出は電気機械製品が12.2%増の1,498億元で輸出総額の約4割を占めた。一方、

輸入は電気機械製品が21.3%増の662億元、ハイテク技術製品が44.7%増の451億元となった。貿易相手国・地域別では、ASEANとの貿易額が30.9%増の810億元で最大となり、米国が30.6%増の539億元となった。

江西省の経済動向

2020年の江西省の経済は比較的順調な成長を続けている。江西省の2020年のGRPは、2兆5,691億5,000万元(前年比3.8%増)となった。GRPを産業別にみると、第一次産業が2,241億6,000万元(前年比2.2%増)、第二次産業が1兆1,084億8,000万元(前年比4.0%増)、第三次産業が1兆2,365億1,000万元(前年比4.0%増)となった。

固定資産投資額も前年比8.2%増と拡大傾向にある。また、江西省向け外国直接投資額(実行ベース:2020年)は146億ドル(前年比7.5%増)となった。

社会消費品小売総額は1兆371億8,000万元(前年比3.0%増)となり、都市住民1人あたりの可処分所得は3万8,556元(前年比5.5%増)、農村住民1人あたりの可処分所得は1万6,981元(前年比7.5%増)となった。

貿易総額は、前年比14.3%増の4,010億1,000万元となった。そのうち輸出総額は17%増の2,920億元、輸入総額は7.5%増の約1,090億元となった。品目別では、輸出はワイヤレスイヤホンや携帯電話、PC・タブレット等の在宅勤務に関連した商品が67%増の567億元となった。貿易相手国・地域別では、ASEAN、米国、EUをはじめとする主要貿易相手10カ国・地域との貿易額が16.7%増の3,027億元となり、貿易額の7割以上を占めた。

新型コロナウイルス感染症による日系企業への影響

ジェトロ武漢事務所が湖北省進出日系企業に対して実施した調査(2020年7月23日~29日)では、事業の再開状況について、7月23日時点で「ほぼ100%」が86%、「70~80%程度」が10%となった。また2020年末時点での操業見通しについて、「ほぼ100%」「70~80%程度」と回答した企業は合わせて98%に達した。

コロナの2020年の収益への影響見込みについて、「マイナスの影響」があると回答した企業は78%となった一方、「ほぼ影響なし」とした企業は17%となった。また、「マイナスの影響」を受けた企業のうち、収益への見込みとして51%以上減少した企業の割合は5%にとどまった。

今後の湖北省でのビジネス方針については、「規模を拡大する」とする企業が23%、「当面(1~2年程度)変更する計画なし」が72%となり、「規模を縮小する」と回答した企業はなかった。

日本人駐在員の現地への復帰状況については、2020年7月23日時点で「ほぼ100%」と回答した企業が61%、「70~80%程度」が7%となった一方で、「復帰できていない」とする企業が17%あった。2021年2月時点で、駐在員の復帰は一段と進んでいるものの、日中における往来の制限緩和や

査証取得にかかる柔軟な対応を求める声は引き続き多い。

表:湖北省、湖南省、江西省の各種経済指標(2020年)

項目	湖北省		湖南省		江西省	
	金額	伸び率(%)	金額	伸び率(%)	金額	伸び率(%)
GRP(域内総生産)(億元)	43,443	△5.0	41,781	3.8	25,692	3.8
第1次産業(億元)	4,132	3.2	4,240	3.7	2,242	2.2
第2次産業(億元)	17,024	△7.4	15,938	4.7	11,085	4.0
第3次産業(億元)	22,288	△3.8	21,603	2.9	12,365	4.0
工業生産付加価値額(一定規模以上、億元)	-	△6.1	n.a.	4.8	n.a.	4.6
固定資産投資額(億元)	-	△18.8	n.a.	7.6	n.a.	8.2
インフラ投資額(億元)	-	△22.8	-	4.6	-	4.2
民間投資額(億元)	-	-	-	3.0	-	3.6
不動産開発投資額(億元)	-	△4.4	-	9.8	-	6.2
社会消費品小売総額(億元)	17,985	△20.8	16,258	△2.6	10,372	3.0
貿易総額(億元)	4,294	8.8	4,875	12.3	4,010	14.3
輸入額(億元)	1,592	9.1	1,568	24.1	1,090	7.5
輸出額(億元)	2,702	8.7	3,306	7.5	2,920	17.0
対内直接投資						
契約ベース(億ドル)	142	△12.8	-	-	-	-
実行ベース(億ドル)	104	△19.8	210	16.0	146	7.5
消費者物価指数(CPI)	-	2.7	-	2.3	-	2.6
都市住民1人あたり可処分所得(元)	36,706	△2.4	41,698	4.7	38,556	5.5

出所: 各省政府発表

地方政府との交流状況

湖南省長沙市書記・市長と日系企業との交流会

- ・2020年6月16日
- ・中国側参加者: 長沙市委書記、長沙市長はじめ同市の投資誘致関係者が出席
- ・日本側参加者: 北京等からの出張者および現地日系企業約30人が参加
- ・交流内容: 長沙市から同市の投資環境につき説明があり、日本企業側からは長沙市への期待などについて発言を行った。

湖北省外事弁公室主任と湖北省進出日系企業有志との懇談会

- ・2020年8月22日
- ・中国側参加者: 湖北省外事弁公室主任、武漢市外事弁公室副主任、武漢市経済技術開発区関係者などが出席
- ・日本側参加者: 現地日系企業有志約100人が参加
- ・交流内容: 都市封鎖解除後の復興状況等につき意見交換を行った。

湖北省武漢市副市長との「武漢市のさらなる国際化に向けた座談会」

- ・2020年10月28日
- ・中国側参加者：武漢市副市長ほか武漢市発展改革委員会、外事弁公室、財政局、商務局等ビジネス環境関連部門が出席
- ・日本側参加者：武漢日本商工会渉外部等3名が出席
- ・交流内容：武漢市の企業支援に感謝するとともに、投資環境のさらなる改善や企業支援策の説明会開催などを求めた。

湖北省武漢市副市長との日系企業交流座談会

- ・2020年11月6日
- ・中国側参加者：武漢市副市長ほか武漢市商務局等ビジネス環境関連部門10名が出席
- ・日本側参加者：輸入博に出席する企業の中国総代表など10名が出席
- ・交流内容：上海市で開催された第3回中国国際輸入博覧会の際に、上海市内で武漢市副市長が主催する形で実施した武漢市と日系企業との交流会。武漢市の今後の経済発展への期待等について意見交換を行った。

< 建議 >

- ① コロナ禍におけるビジネス越境往来時の隔離条件緩和
- ② 日本と武漢、日本と長沙の定期航空便の早期再開
- ③ 湖北省在住日本人の中国他地域への円滑な移動確保
- ④ 外国人の中国駐在にかかる就労許可、査証・居留証取得にかかる柔軟な対応
- ⑤ 日本国総領事館の設立にかかる支持
- ⑥ 法規執行の安定性・透明性・利便性の維持・確保
- ⑦ 新型コロナワクチンの安定確保
- ⑧ 人件費上昇に対する支援
- ⑨ 工場運営、生活維持のためのエネルギーの安定供給確保
- ⑩ 夏季集中豪雨に伴う浸水被害防止の徹底
- ⑪ 外国人向け医療機関の確保
- ⑫ 中国中部地域と中国他地域との物流のさらなる円滑化

2. 安徽省

新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、安徽省の2020年通年の工業生産付加価値額、社会消費品小売総額はそれぞれ6.0%増、2.6%増となった。

安徽省の経済動向

2020年の安徽省の域内総生産（GRP）は前年比3.9%増の3兆8,681億元となり、成長率は中国全体（2.3%）を1.6ポイント上回った。産業別に見ると、第一次産業が2.2%増の3,185億元、第二次産業が5.2%増の1兆5,672億元、第三次産業が2.8%増の1兆9,824億元とそれぞれGRP全体の8.2%、40.5%、51.3%を占めた。第三次産業の構成比が第二次産業を超え、半分以上を占めた。固定資産投資は前年比5.1%増、社会消費品小売総額は2.6%増で、いずれも全国の伸び率（2.9%増、3.9%減）を上回った。貿易総額は780億5,000万ドルで、前年比13.6%増加した。輸入額は14.6%増の324億6,000万ドル、輸出額は12.8%増の455億8,000万ドルとなった。また、対内直接投資の実行額は2.1%増の183億1,000万ドルとなり、契約額は78.1%減の51億7,000万ドルとなった（表）。

表：安徽省の経済動向（2020年）

項目	金額	伸び率 (%)
GRP (域内総生産) (億元)	38,681	3.9
第1次産業 (億元)	3,185	2.2
第2次産業 (億元)	15,672	5.2
第3次産業 (億元)	19,824	2.8
工業生産付加価値額 (一定規模以上、億元)	-	6.0
固定資産投資額 (億元)	-	5.1
インフラ投資額 (億元)	-	10.6
民間投資額 (億元)	-	0.8
不動産開発投資額 (億元)	7,042	5.6
社会消費品小売総額 (億元)	18,334	2.6
貿易総額 (億元)	5,406	14.1
輸入額 (億元)	2,245	15.0
輸出額 (億元)	3,161	13.5
対内直接投資		
契約ベース (億ドル)	52	△78.1
実行ベース (億ドル)	183	2.1
消費者物価指数 (CPI)	-	2.7
都市住民1人あたり可処分所得 (元)	39,442	5.1

出所：安徽省統計局

2020年、安徽省に新規登録された対内直接投資件数は393件で、前年比12.9%増加した。対内直接投資契約額は51億7,000万ドルで、78.1%減と大幅に減少したが、実行額は183億1,000万ドルで、2.1%とわずかながら増加し、順調に「第13次5カ年計画」（2020年までに、対内直接投資実行額を180億ドルに到達させる）の目標を達成した。2020年末までに、安徽省に投資した世界500強企業は累計89社となった。

2020年1月～11月の、安徽省への対内直接投資を国・地域別にみると、香港は引き続き第1位となり、前年同期比9.5%増加した。また、韓国、英国、ドイツ、英領ヴァージン諸島の投資額はそれぞれ3.7倍、2.7倍、82.9%、37.5%と増加した。

<建議>

- ①日本語（もしくは英語）での現地投資環境情報並びに現地規制情報の発信強化を要望する。
- ②円滑な事業運営に向けた支援・協力を要望する。
- ③企業の海外送金に関する制限緩和を要望する。
- ④駐在員の生活環境の改善を要望する。
- ⑤日本人在住者と政府当局との交流のサポートを要望する。